

すぐに役立つ暮らしの健康情報——

こんにちわ

2020年10月号



一般の方は10月26日からの接種となり、特に医療従事者、基礎疾患を有する方、妊婦、生後6ヶ月から小学校2年生までの乳幼児には接種を開始します。

新型コロナはインフルエンザと症状が似ており、検査も不十分なうえ治療法がないことから、今冬は混乱が予測されます。

まずはワクチンの接種でインフルエンザの発症、重症化を防ぐようにしましょう。そしてこれまでどおり三密を避け、マスク着用、手洗いを励行し、睡眠とバランスの良い食事を心がけてください。

厚生労働省は昨年の12%増の約6300万人分のインフルエンザワクチンを供給し、10月1日より予防接種法に定められている65歳以上の方、60歳以上で心・腎・呼吸不全、免疫不全等で日常に障害の有る方を優先して接種を開始します。

新型コロナが収束しないなか今冬にはインフルエンザとの同時流行が懸念され、インフルエンザワクチンの接種を希望される方が多くなると予想されております。



インフルエンザワクチン